

公益社団法人 茨城県作業療法士会  
令和2年度 第2回理事会 資料

令和2年6月7日(日)午後12時05分、インターネット会議システム Zoom を使用し、Web 会議形式にて、理事 25 名、監事 1 名出席の下に理事会を開催し、下記議案に付き全員一致をもって可決確定(一部継続審議)の上、13時20分散会した。

日時：令和2年6月7日(日) 12:05~13:20

場所：インターネット会議システム Zoom を使用し、Web 会議形式で実施。

出席：(理事) 大場、寺門、小森、山倉、笥、細田、大内、荒井、武士、若山、唯根、吉田、新堀  
服部、田中、小山、藤木、柘植、小坪、田口、宇都木、小田部、土橋、磯、関  
(監事) 西  
(総務部) 松本、大関

欠席：山田

書記：荒井

理事会定足数：理事 25 名、監事 1 名の参加があり、理事会成立となる。

【I 審議事項】

1. コロナウイルス拡大に伴う法人運営・予算案の見直しについて(小森事務局長・武士財務部長)

→承認

<法人運営について>

- ・コロナウイルス拡大に伴う法人運営について、各部局においても事業の中止が決定している。
- ・公益法人としての基準数値を満たすことが困難となっている中、今年度の対応について検討を頂きたい。
- ・感染症拡大に注意しながら可能な方法、例えばオンライン等での様々な事業を検討する。
- ・当法人としては、来年度以降に収支相償が改善し、公益事業比率 50%を達成する計画の提出が必要となる。
- ・特定準備資金を来年度に向けてどのように準備するか検討が必要。
- ・県の医療人材課にも問い合わせ、公益比率 50%を毎年クリアする必要は無いとの回答をいただいている。公益事業比率 50%を達成する計画の提出が必要となるため、今後 2~3 年度を見据えた事業運営にあたっていく必要がある。

<予算案の見直しについて>

- ・今年度の公益認定基準数値を満たすことが困難になっており、次年度以降の中長期的な事業展開に向け、3月末で提出した予算案を修正する必要がある。
- ・会計社より今年度事業実施と公益法人認定基準についての回答があり、今年度は収支バランスがプラスになっても、公益目的認定基準を下回っても特段処分があるわけではない。
- ・収入は研修会収入が減ることにより、当初の予算案より 105 万円のマイナスで考えている。
- ・事務局は、上半期の旅費交通費支出を削除、常任理事会の旅費支出を削除。
- ・委託費の高校生見学会支出額を 92,000 円から 70,000 円へ減額。
- ・認知症支援推進委員会事業費は、AR・VR の事業開催が見通せず 150,000 円から 50,000 円へ減額。
- ・広報局は、進路指導担当者会議について講師謝金は中村茂美先生分のみの想定。資料は毎年、講義資料と各養成校のパンフレット、県士会啓発用パンフレット・リーフレットを配布しているが、集まらないため、郵送するか直に配布するしかない。また、パンフレットデータを配信するか検討が必要。
- ・教育学術局は、学会は開催しないため学会収入はすべて削除。
- ・研修会は、オンラインでの実施を想定。
- ・総会時研修は、講師謝金 15,000 円、資料印刷 15,000 円から 0 円(動画 up のため)で計上している。
- ・臨床実習指導者研修会は実施の方向であり、謝金 0 円から 90,000 円×2 回分で計上している。

- ・対面式の研修会は開催しないため、傷害保険料は5,000円から0円で計上。
- ・子ども委員会について、研修会はICTを活用した研修会とするか、会議はweb上で実施するのかをご検討いただきたい。
- ・医療圏は、上半期事業はすべて実施しないことになり支出0円とした。
- ・地域貢献局は、すべての事業で下半期に実施予定となっているが、どのように実施していくのか検討したい。
- ・事業全体の支出額は当初の予算案より263万円マイナスで考えている。事業費全体の収支バランスは150万円のプラスを見込んでいる。

<審議結果>

- ・基本的には、本年度の事業運営はICTを使った活動にて行っていく。
- ・下半期も、コロナウイルスが第2波、3波と出る可能性もあり、感染リスクを考えると対面式の事業は運営しない方が良く考えられる。
- ・茨城県知事の発言も参考にしていきながら動向をみて行っていく。
- ・総会時研修動画は、寛・大場で動画を作成し、講師謝金は規程に沿って支払いしていく。

2. 今年度のCD統括部の活動について (服部CD統括部長) →承認

- ・各医療圏のCDによる活動は地域や他団体との協力のもと行われる内容が多く、今年度は感染症拡大予防目的で中止する方向となった。
- ・次年度に向けて建設的に予算立てができるようCD全体会議を開催したい。1回目で現状の把握、情報交換、県士会としての方針を伝え、各医療圏で検討してもらい、2回目で具体的な医療圏の活動内容を共有していく。
- ・開催については、各医療圏CDとZoom会議を2回開催し、参加者は各医療圏代表者1名とし、地域貢献局長、CD統括部長、副部長とし12名で実施予定。
- ・会議は1時間半を予定し、議事録を作成。日当として参加者1名あたり2,000円算出する。

<審議結果>

- ・日当については、妥当な金額であると考えられ承認とする。

3. 令和2年度OTフェスタ代替え企画の実施について (吉田OTフェスタ運営部長) →承認

- ・新型コロナウイルスによる影響により、各種イベントは中止・縮小方向となり、水戸まちなかフェスタの中止は決定した。
- ・茨城ロボットも、ブース出展が縮小・制限される可能性があり、当会が出展できない事も想定される。
- ・Web上での開催なども含め、今年度中の代替え企画の実施の有無を検討いただきたい。

<審議結果>

- ・Webでの開催は、案内も含めて周知・参加者を集める事が難しいと思われる。
- ・情報発信という点ではOTフェスタ運営部単独ではなく広報局や他部局と連携して行っていく。
- ・事業目的としては、OTの啓発や地域への還元になるので、広報局や市民公開講座運営部などと連携して行い、OTフェスタ運営部単独での事業は実施しなくても良い。
- ・広報局にて、今月中に高校生見学会のための動画を作成しようと考えている。情報発信に関しては、必要な動画ソフトなどの購入が必要であれば購入していく。

4. 令和2年度市民公開講座開催の可否について (小坪市民公開講座運営部長) →承認

- ・今年度の市民公開講座は、下期11月を予定しているが、新型コロナウイルスの影響を踏まえた上で、開催の可否について検討を行いたい。
- ・講師と連絡を取り合う中で、オンラインでの開催も案として出ているが、一般市民向けの講座での使用が適切か、開催時期を遅らせることの可否について検討したい。

<審議結果>

- ・時期を遅らせても第2波もある可能性もあり集合型の研修会の開催は難しいのではないかと。
- ・オープンで県民に向けたオンラインでの研修会は設定やスマホだと容量規制などもあり大変である。

- ・会員に関しては、オープンにして広報していく。講師の承諾を得て録画録音したものを動画媒体にして、オンラインで配信したりユーチューブで配信もできるのではないか。制限付きでのユーチューブでの配信も可能であり、アクセスキーを使っての配信も良いのではないか。
- ・会員には、オンラインで行い、その他の方については動画で配信する方向で検討。
- ・子ども委員会の研修会も同じように進めていく。

#### 5. 代議員制度について (荒井規約委員長)

→継続審議

- ・代議員制度導入にあたって、今までの理事会・常任理事会の審議を踏まえて定款を変更したため確認をお願いしたい。

##### <審議結果>

- ・総会にて会員から代議員制度導入への承認をいただいた。引き続き代議員制度導入にあたって細かな規定を作成していく。

#### 6. 茨城県作業療法士会会員の継続に関して (磯庶務部長)

→承認

- ・会員より引っ越しに伴い、他県に在住しており、自宅および職場も茨城県内にないが、継続して茨城県作業療法士会会員として継続し、研修会等へ参加していきたいとの申し出があった。

##### <審議結果>

- ・理事からの意義はなく承認。

### 【Ⅱ報告・連絡事項】

#### 1. 今年度の総務部の体制について (荒井総務部長)

- ・はまぎくの会松本純一氏、水戸赤十字病院大森叶奈美氏を部員とし業務にあたっていく。

#### 2. 登記変更について (荒井総務部長)

- ・監事の変更に伴い、法務局への変更登記を実施する。氏の変更になった理事もあり、併せて変更登記を実施する。

#### 3. 学会準備進捗状況について (宇都木学会部長)

- ・今年度の学会について、第13回茨城県作業療法学会第6回北関東信越ブロック学会は今年度の開催を中止し、次年度へ延期とすることとなった。
- ・周知についてはホームページと定期郵送にて行っていく。
- ・北関東信越ブロックのOT県士会への報告については、当士会会長より各士会会長への連絡と公文書を事務局より郵送していただいた。
- ・オンライン開催や誌上開催についても検討した結果、今年度は前述の代替案も実施しないこととした。
- ・リハケア学会については、今年度当士会が幹事団体となって第24回茨城県総合リハビリテーションケア学会を県学会、ブロック学会と合同開催することで準備を進めていたが、今年度は中止とする決定がなされた。
- ・来年度については未定だが、仮に依頼があったとして、受諾する場合は合同学会ではなくリハケア学会単独で当士会が幹事団体となって運営することが諸所の調整等を考えても妥当なのではないかと考えている。

#### 4. 茨城自民党への政策提言について (小森事務局長)

- ・6月8日が締め切りとなっている。理事より意見が無ければ大場会長・中村政策提言推進委員長に取りまとめていただいて提出する。

#### 5. 茨城県リハビリテーションケア学会関連について (小森事務局長)

- ・年会費が20,000円となった。今後支払いをしていく。

6. 地域包括ケアシステムウェブ研修会の報告（新堀イキイキ地域づくり事業部長）
- ・先日（5月28日）にウェブ会議が開催された。研修会を受け、今後 IRPA と協力しながら現状の把握を行う事となり具体的な方策についてご報告する。
  - ・現在、地域ケア会議の再開のめどが立っていないため、地域課題の抽出が行えていない。また、行政へ Web 会議の提案も行ったが受け入れてもらえていない。
  - ・今後委員会にて6月～7月にアンケートを実施し、8月4日に Web での研修を行う予定となっている。
7. 令和2年度がんの作業療法対策委員会活動内容について（田口がんの作業療法対策委員長）
- ・令和2年度企画提案型がん対策推進事業へ申し込みを行った。
  - ・採択可否は未だだが、本年度事業として「がんの作業療法啓発動画」の作成を予定している。
  - ・県士会ホームページ上の専用ページより自由に閲覧可能な動画の作成を行う予定。アップロード後、関係各所へ動画公開の案内配布を実施。
  - ・昨年度作成したパンフレットも無料ダウンロードできるようにし、ホームページ関連について広報局と連携して対応したい。
8. 次回、第1回常任理事会理事会について（荒井総務部長）
- ・令和2年7月5日（日）9：00～ Web にて開催予定

以上